

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年4月7日

事業所番号	2771602063	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	特定非営利活動法人 エコロジーネットワーク		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	エコ 吹田	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪府吹田市南金田二丁目3番1号 電話 06-6192-1771	評価調査日	平成 20 年 4 月 4 日
		評価確定日	平成 20 年 4 月 8 日

【情報提供票より】 (平成20年3月14日 事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	14人	常勤 4人	非常勤 10人 常勤換算 11.2人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造り 4階建ての(2階~3階部分)
-------	------------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4万2千円	その他の経費 (月額 2万2千円)		
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 30万円	償却期間 1年		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		3万6千円	

## (4) 利用者の概要 (12月22日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	7名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	68才	最高	96才
(5) 協力医療機関名					
東野クリニック 小林デンタルクリニック					

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

管理者と両ユニットのリーダーの努力で、職員間のチームワークがよく取れており、良質なサービスの提供ができています。更に、職員に看護師が加わったので、24時間の適切な指示が受けられる態勢となり、各職員も自信を持って介護に当たっています。所内の環境については、1階に中庭があり、緑のカーペットを敷いて、テーブルと椅子を配置し、寛ぎの場として利用している。また園芸の出来る土地部分も備えられている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	利用者一人ひとりの出来る能力を見極めるため、職員が手分けして見守りを続け、拘わり過ぎないように注意しながら介護に当たっている。穏やかな気分を醸し出すバックグラウンド・ミュージックは、夕方の利用者の心理状態に合わせるように流している。運営理念は、両ホームの目に付きやすい箇所に掲示している。運営推進会議については、まだ開催されていないので今年度の重点課題としている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者と両ユニットのリーダーが下書きの上、各職員との話し合いによって記載されているが、職員の中心となって働いているのは勤続が3年前後の職員で、これらの職員を中心にして、ケア・レベルが向上している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	前年度中に運営推進会議の開催が出来なかったため、今年度は定期的を開催することを、重点課題としている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族アンケートの集計結果では、概して安心しているように見受けられる。また、ご家族の来訪時には、職員が面談して日常生活や、症状を詳細に説明しており、これに関連して、特に苦情や提案は頂いていないが、今後も十分な配慮をしながら運営することに変わりはない。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地元の自治会から行事に誘われれば、その都度、参加している。また、外出時や、散歩の際には近所の方々と挨拶を交わし、地元馴染むようにしている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	分かり易い表現の理念を、両階の居間と職員休憩室に掲示している		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の介護の基本として理念を、各職員に浸透させている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	近所の方々とは、外出時の挨拶程度しかされていない。今後は運営推進会議を開催することで、組織的な連携を目指す		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義及び自己評価の意義と、今後の改善を話し合った上で、今回の評価に望んでいる		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	昨年度に運営推進会議の開催に漕ぎつけなかったのが今年度の重点課題としている	○	市役所の担当部署、または地域包括センターと連携して開催できるよう努めて欲しい
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、関係書類の提出時に所轄の部署宛に発送せず、ご担当の窓口に出向いて届けている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月のご家族宛の郵送時に、ホーム便り(エコ通信)を同封している。個々の近況その他については、担当職員が毎月、ご家族に連絡と報告をしている		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族の意見、苦情は専任の苦情担当職員が記録し、関係者と検討解決を図っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

### 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員一人ひとりの研修課題を、個人ごとに管理し、早くて洩れのないようにレベルアップを図って欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	--	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3・6か月の介護計画の見直し後も、必要な時には、適宜、対応している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多機能性を生かした援助を行っている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	内科医は2週間ごとに往診があり、歯科医も同じく往診があって、適切な治療投薬が行われている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の場合のマニュアルがあり、ご家族と本人も加え、前もって話し合いと承認をもらっている		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりへの話しかけの注意、プライバシーと個人情報の取扱いは、特に注意を払っている。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が、規定や執務要領に忠実過ぎて業務優先にならないよう配慮し、出来るだけ個人の希望に副えるようにしている		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや配膳、片付けが出来る方に手伝いをしてもらっている、リクエストによる食事も行っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		出来るだけ要望に沿えるよう配慮して行っている

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		職員の担当制により、様々なレクリエーションを実施して楽しんでもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		それぞれの多様な要望を、すべて満たすことはできないが、希望にはできるだけ応えられるように努力している

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		ビジネス街の中にあるので、トラックの通行が多く、危険なので已む得ず、鍵かけが行われている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	消防署の署員の指導で、緊急時の避難についての指導を、毎年受けている
					地元の方々との交流により緊急避難がより良くできるようにするため、先ず、運営推進会議を開催することから始め、回を重ねることで、情報を交換すること等から、親密度を増やして欲しい

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事は栄養士によるメニューを基にして提供している、また、特別食についても、適宜に対処している
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用空間の照明と空調は、快適な生活ができるように調整され、テレビも見やすく、季節の飾りも適当に配置している
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		仏壇を持ち込んで、僧侶による月詣りをしている者があるくらい、過去に生活していた時と変わらぬ雰囲気、それぞれが、適宜、居心地よく過ごしている